

新型コロナウイルス感染症患者（17～22例目）の発生について（第1報）

令和2年4月12日（日）、広島市内の医療機関から、社会福祉施設に入所している6名について、新型コロナウイルス感染症が疑われる旨の連絡があり、本市衛生研究所で検査を実施したところ、4月13日（月）、全員が陽性であることが確認された。

1 患者概要

区分	年代	性別	居住地	症状
17例目患者	30歳代	男性	広島市	発熱、嘔吐、下痢
18例目患者	20歳代			発熱、咳
19例目患者	20歳代			発熱
20例目患者	30歳代			発熱
21例目患者	40歳代			発熱
22例目患者	30歳代			発熱

2 行動、症状の経過等

- 4月12日（日） 入所者6名に発熱、咳、嘔吐、下痢が出現
A医療機関を受診
医師が新型コロナウイルス感染症を疑い、検体を採取
- 4月13日（月） PCR検査の結果、新型コロナウイルス陽性と判明

※患者6名については、当該社会福祉施設内で発症したことから、当該施設か感染症指定医療機関等のベッドの空き状況などを考慮しながら対応することとしている。

※本人等からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はない。

3 今後の対応

- ・現在までに確認できた患者の行動歴をもとに、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し、患者との接触状況や健康状態についての把握など、逐次、積極的疫学調査を実施しているところである。
- ・更に患者の詳細な行動歴の確認を行った上で積極的疫学調査を行い、その結果をもとに、当該濃厚接触者に対する、健康観察（毎日の体温確認等）と、必要に応じてPCR検査を適切に実施することとしている。
- ・この調査により把握した感染拡大防止のために必要な情報は、速やかに市民に広く提供することとしている。